

決算特別委員会

- 藤澤 和成 ○田中 隆徳
- 鈴木 一樹 水柿 美幸
- 中座 敏和 石嶋 巖
- 小倉ひと美 小島 信一
- 津田 修 真次 洋行
- 三浦 讓 秋山 恵一
- ◎委員長 ○副委員長

決算特別委員会が、9月16日、17日、21日の3日間開かれ、令和2年度の一般会計、特別会計及び企業会計決算について、いずれも認定すべきものと決しました。

また、24日の本会議においても原案のとおり認定されました。

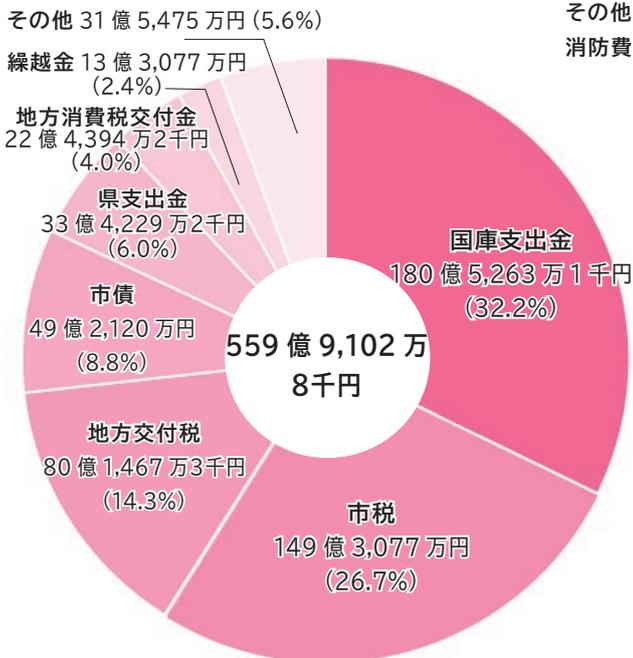
令和2年度の
決算を**認定**
しました！



一般会計決算

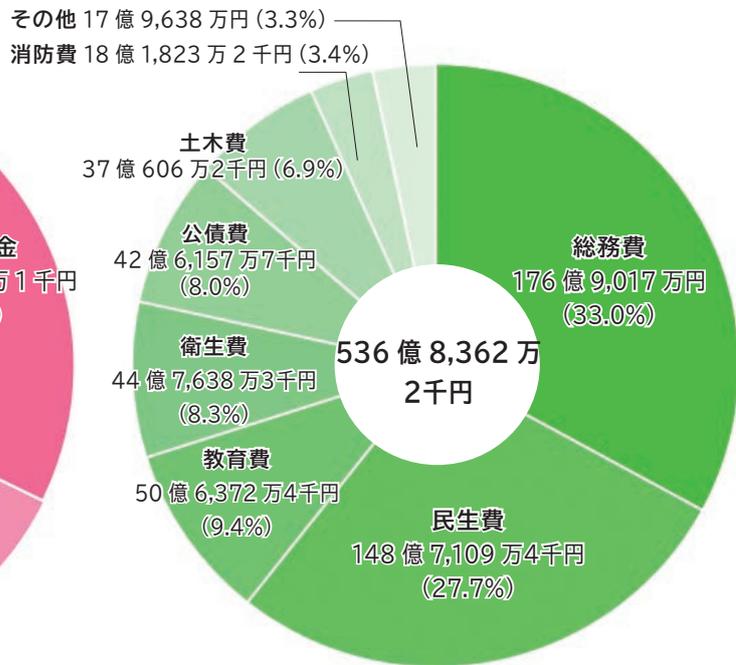
歳入

(前年度比 26.7%増)



歳出

(前年度比 25.2%増)



※歳入・歳出増の主な要因としては、新型コロナウイルス感染症対策によるものです。

【用語解説】Q 決算特別委員会とは？ ↓裏表紙へ

会計別決算

【企業会計】

区分	歳入	歳出
水道事業	32億 3,044万 8千円	36億 1,095万 2千円
うち収益	23億 6,134万 5千円	20億 4,039万 2千円
うち資本	8億 6,910万 3千円	15億 7,056万円
下水道事業	25億 9,912万 7千円	29億 7,245万 9千円
うち収益	17億 6,178万円	16億 7,430万 3千円
うち資本	8億 3,734万 7千円	12億 9,815万 6千円
農業集落排水事業	10億 9,431万 7千円	11億 8,841万 6千円
うち収益	9億 2,192万 4千円	8億 9,596万 7千円
うち資本	1億 7,239万 3千円	2億 9,244万 9千円

【特別会計】

区分	歳入	歳出
国民健康保険	107億 3,504万 6千円	103億 9,013万 1千円
後期高齢者医療	24億 743万 3千円	23億 7,962万 9千円
八丁台土地区画 整理事業	2億 2,898万 1千円	7,068万 5千円
介護保険	88億 1,383万 5千円	85億 7,433万 1千円
介護サービス事業	838万 3千円	211万円
病院事業債管理	8億 9,437万 8千円	8億 9,437万 8千円
計	230億 8,805万 6千円	223億 1,126万 4千円

決算特別委員会における主な質疑

公共交通対策事業

問 新規路線バス需要調査の対象地域と結果は。今後バス運行の見直しをしておくのか。

答 北部地区（竹島～河間～小栗～新治）を対象にアンケート等の調査を行った。バス運行に関しては、新規計画の中で今後検討していく。



敬老記念品支給事業

問 支給対象者の人数及び記念品は。

答 75歳到達者が990人、88歳到達者が607人、100歳以上が91人。それ

ぞれ金券を送付し、100歳以上の方には賞状等を贈呈している。



農作物ブランド化推進事業

問 令和2年度の事業実績は。

答 筑西ブランドとして、スーパーフルーツトマト、こだますいかアイスの生産者2団体を新たに認証した。また、「いちごのむヨーグルト」を開発し、道の駅でオリジナル商品として販売している。



議会ICT化推進特別委員会を設置しました！

第2回臨時会（8月12日）に、タブレットを活用して、より効率的で迅速な議会運営や議案審議を行うため、議会のICT化に関して調査を行うことを目的とする「議会ICT化推進特別委員会」が全会一致で可決し、設置されました。

8名の委員で構成され、委員長に藤澤委員、副委員長に中座委員が互選されました。



今後は、視察研修やタブレット操作研修会等を行い、議会のICT化を進めていく予定です。

【議会ICT化推進特別委員会】

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 藤澤 和成 |
| 副委員長 | 中座 敏和 |
| 委員 | 鈴木 一樹 |
| 委員 | 石嶋 巖 |
| 委員 | 稲川 新二 |
| 委員 | 小島 信一 |
| 委員 | 増淵 慎治 |
| 委員 | 尾木 恵子 |

ICT【用語解説】

ICTとは、「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略で、情報技術を活用してさまざまな人やモノをつなげていく技術のことです。

タブレットを活用し、ICT化を進めることで、災害時等緊急連絡やオンライン会議への活用、ペーパーレス化などによる、業務の効率化が期待されます。